



学校だより



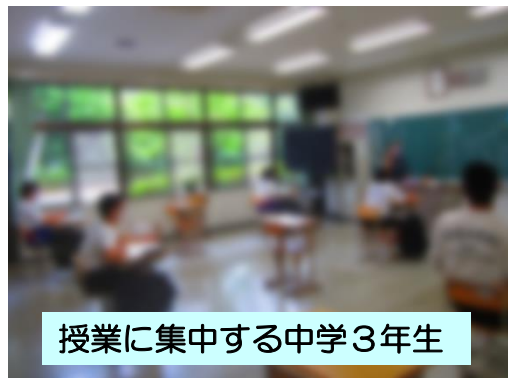
青梅市立東小中学校
令和3年度 第3号
6月21日(月)

毎日の授業に真面目に取り組む その積み重ねが
夢・目標の達成へつながる

校長 川窪 公夫

延長されていた緊急事態宣言が今日、解除(かいじょ=取りやめる)されました。また、東京も梅雨入りを迎え、蒸し暑い日が続きますが、今後もマスクの着用・手洗いの励行(れいこう)・手指で目や鼻を触らないなど感染防止に努めて、学校生活を過ごしていきましょう。

さて、4月当初、今年度から中学校の観点別評価(かんでんべつひょうか)の変更に伴(ともな)い、中学校の通知表が変わることを伝えました。その際に、新しい観点である「主体的に学習に取り組む態度」の主体的とは、どのようなことか?また、今後ますます授業を受ける態度が重要になるとの話をしました。早いもので、1学期も残すところ1ヶ月あまりとなってきた最近の皆さんの授業態度を見ていて感じることは……



- 先生の目を見て、集中して話を聞いている。
- 先生の質問に「分かりません」と答える人がほとんどいない。これはすごい!
- ノート・プリントやメモを取る。実技教科の作業に集中できている。
- 手を挙げたり、積極的に取り組んでいる人が多い。

皆さんが、夢や目標につながっている毎日の授業を大切にしていることは、本校の誇りです。これからも先生の話をよく聞いて、一生懸命に勉強し、学力を伸ばしましょう。

ものづくり → 土・水・太陽のめぐみに感謝

今日は、日の出から日の入りまでが一番長い日、つまり、昼間が一番長い、夏至(げし)と呼ばれる日です。いよいよ、夏本番となり、本校の特色ある教育「ものづくり」の授業でも夏野菜の栽培が本格的に始まっています。毎年のことですが、夏の暑さの中、子ども達は、黙々と一生懸命に農作業に励んでいます。特に熱中症が心配な時期でもあり、十分な水分補給を行いながら土に親しみ、自然の恩恵を感じながら良い汗をかいています。先日、じゃがいもの収穫に同行した際に、子ども達に感想を聞いてみました。

「土の中に手を入れたときに、片栗粉(かたくりこ=料理に使う)のようなふわふわした手の感触があり、気持ちいいです。」と答える子どもをはじめ、ほとんどの子ども達は土に触れること

の楽しさや収穫の喜びを語ってくれました。ナス・枝豆・キュウリなどの夏野菜の成長とともに、農作業に地道に取り組む子ども達の心が豊かに成長することを願います。



春のスポーツ大会 = 盛り上がる 熱気と歓声 やる気と笑顔

5月22日(土)学園恒例の春のスポーツ大会が行われました。男子は、ソフトボール大会、女子は、ビーチボールバレーで熱戦が繰り広げられました。当日は、雨が心配されましたが、降られることもなく、ほど良い曇り空となりました。この日のために、各寮とも優勝目指して、頑張っって練習を積んで来ました。その成果を発揮しようと子ども達は、すごく頑張っていました。コロナ禍にあって、久しぶりに聞いた歓声は新鮮で嬉しい気持ちになれました。そして、驚いたのは、子ども達のやる気だけでなく、本気で取り組む学園の先生方の熱気です。多くの先生方がハッスルプレーを通して、スポーツ大会を楽しむ大切さを伝えてくれていました。子ども達のために全力を尽くす姿は私たちの見本でした。教職員チームも参加する予定で、多くの先生方が楽しみにしていましたが、緊急事態宣言中で、残念ながら出場を見送ることになりました。

大会を企画・運営していただいた学園の先生方に感謝しております。秋のスポーツ大会には、教職員チームも参加し、子ども達及び学園の先生方と親睦を図ることができるよう感染症の終息を願っています。



今年もやります！ わんぱくクラブ ← 小学生

5月26日(水)、今年度2回目となるわんぱくクラブが行われました。今回は、感染症予防に努め、ソーシャルディスタンスを取りながらできる「体育館遊び」という企画でした。5・6年生がそれぞれ、二つのグループに分かれ、新聞リレーなど3つの種目で競い合いました。学園・学校の先生方もたくさん参加していただき、子ども達と笑顔あふれる楽しい一時を過ごしていました。6年担任の水戸先生は、「体を動かすゲームもあり、お互いのジェスチャーで楽しめる活動もあり、今回のわんぱくクラブも盛り上がり良かったです。」と話して

いました。ゲームの合間に寮の先生にお礼を言ったら、「今年もやりますよ！」と自信満々の笑顔が返って来ました。先生方のやる気は凄いと感じました。今年も期待しています。

